

診療科別コース一覧【外科】

令和5年8月29日時点

○ キャリア形成支援機関及び診療科別コース

外科の各診療科別コースは新プログラム向けに策定されています。旧プログラム選択者については、新プログラム向けの診療科別コースを参考にキャリア形成プランを作成します。

千葉大学医学部附属病院

【変更】呼吸器外科／非常勤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

東邦大学医療センター成田病院

【追加】心臓血管外科／非常勤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

【追加】消化器外科／非常勤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

【追加】呼吸器外科／非常勤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

【追加】乳腺外科／非常勤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

【廃止】外科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

日本医科大学千葉北総病院

【変更】消化器外科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

診療科別コース(当初作成日:令和元年11月18日)

1 概要

| | |
|---------------------|--|
| 診療科(基本領域) | 外科—呼吸器外科 |
| キャリア形成支援機関 | 千葉大学医学部附属病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 呼吸器外科 准教授 鈴木秀海 |
| 問合せ先 | 043-222-7171 ext.5461 |
| コースの特長 | 千葉県内に多くの関連施設を有しており、充実した外科・呼吸器外科研修が可能である。外科専門医・呼吸器外科専門医取得を修練の目標にしているが、希望によっては将来の指導医を目指すための研究にも挑戦する機会を設けている。その場合、医学博士号の取得を兼ねる。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
|----------------|---------------|
| 外科専門医 | 医師免許取得後6年目 |
| 呼吸器外科専門医 | 医師免許取得後8年目 |
| 医学博士 | 医師免許取得後9年目 |
| 気管支鏡専門医 | 医師免許取得後9年目 |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 |
|--------------|---------|----------|-----|-----|-----|------------|-----|-----|--------------|--------|
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修(外科) | | | 猶予 | | | | | |
| | | 基幹 | 連携 | 連携 | | | | | | |
| 勤務先 医療機関※ | 臨床研修病院群 | | C | A | B | C, A, 非, * | | | B, A 非, * | B, A 非 |

※勤務先医療機関: 県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

*:4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
|-----------------------------|---|-------------|
| 東千葉メディカルセンター 千葉県循環器病センター | 千葉県済生会習志野病院 東京女子医科大学附属八千代医療センター 松戸市立総合医療センター 国保直営総合病院君津中央病院 千葉労災病院 成田赤十字病院 国際医療福祉大学成田病院 | 千葉大学医学部附属病院 |

【非常勤勤務について】

想定される勤務シフト(週の勤務日数等)

- ・東千葉メディカルセンター等における週1日の非常勤での勤務を5年間(常勤換算方法:0.2年×5=1年)

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

呼吸器外科修練については、国内有数のカリキュラム編成です。呼吸器外科専門医取得率はこの10年間では90%以上です。専門医取得後は、関連施設のスタッフ、大学病院の教員、国内外の施設への留学などの進路があります。修練医の希望に応じて、進路設定をしていきますので、何でも相談してください。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| 診療科(基本領域) | 外科—心臓血管外科 |
| キャリア形成支援機関 | 東邦大学医療センター佐倉病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 心臓血管外科 教授 診療科責任者 本村 昇 |
| 問合せ先 | 043-462-8811 |
| コースの特長 | 外科研修を継続しつつ、非常勤勤務で地域医療に貢献する。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|----------------|-----------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
| 外科専門医 | 医師免許取得後 6 年目 |
| 心臓血管外科専門医 | 医師免許取得後 9-10 年目 |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | 1 年目 | 2 年目 | 3 年目 | 4 年目 | 5 年目 | 6 年目 | 7 年目 | 8 年目 | 9 年目 |
|--------------|---------|------|----------|------|-------|------------|------|------|------|
| 状況 | 臨床研修 | | 専門研修(外科) | | | 心臓血管外科専門研修 | | | |
| | | | 基幹 | 基幹 | 連携/基幹 | | | | |
| 勤務先 医療機関※ | 臨床研修病院群 | | B、A 非 | | | | | | |

※勤務先医療機関：県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

【非常勤勤務について】

想定される勤務シフト(週の勤務日数等)

- ・地域 A 群で週 1.5 日(10 時間程度)の非常勤勤務を 7 年間(常勤換算方法:0.3 年 x7=2.1 年)
- ・地域 B 群で週 4.5 日(37 時間程度)の非常勤勤務を 7 年間(常勤換算方法:1 年 x7=7 年)

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
|------------------------|--------------------------------|-------|
| 浅井病院 東葉クリニック大網脳神経外科 | 東邦大学医療センター佐倉病院 日本医科大学千葉北総病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

東邦大学の勤務の規定として、常勤勤務として週 1.5 日の非常勤勤務が認められています。当科と提携している地域 A 群の医療機関に非常勤勤務を継続して行うことにより、外科研修を継続しながら地域 A 群の勤務期間を満たします。
当科は心臓血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科で一体的に運営されていますので、外科の各科の研修をフレキシブルに行うことが可能です。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| 診療科(基本領域) | 外科—消化器外科 |
| キャリア形成支援機関 | 東邦大学医療センター佐倉病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 消化器外科 准教授 診療科責任者 大城 崇司 |
| 問合せ先 | 043-462-8811 |
| コースの特長 | 外科研修を継続しつつ、非常勤勤務で地域医療に貢献する。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|----------------|---------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
| 外科専門医 | 医師免許取得後 6 年目 |
| 消化器外科専門医 | 医師免許取得後 8 年目 |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | 1 年目 | 2 年目 | 3 年目 | 4 年目 | 5 年目 | 6 年目 | 7 年目 | 8 年目 | 9 年目 |
|--------------|---------|----------|-------|-------|-----------|------|------|------|------|
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修(外科) | | | 消化器外科専門研修 | | | | |
| | | 基幹 | 基幹 | 連携/基幹 | | | | | |
| 勤務先 医療機関※ | 臨床研修病院群 | | B、A 非 | | | | | | |

※勤務先医療機関：県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

【非常勤勤務について】

想定される勤務シフト(週の勤務日数等)

- ・地域 A 群で週 1.5 日(10 時間程度)の非常勤勤務を 7 年間(常勤換算方法:0.3 年 x7=2.1 年)
- ・地域 B 群で週 4.5 日(37 時間程度)の非常勤勤務を 7 年間(常勤換算方法:1 年 x7=7 年)

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
|------------------------|--------------------------------|-------|
| 浅井病院 東葉クリニック大網脳神経外科 | 東邦大学医療センター佐倉病院 日本医科大学千葉北総病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

東邦大学の勤務の規定として、常勤勤務として週 1.5 日の非常勤勤務が認められています。当科と提携している地域 A 群の医療機関に非常勤勤務を継続して行うことにより、外科研修を継続しながら地域 A 群の勤務期間を満たします。
当科は心臓血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科で一体的に運営されていますので、外科の各科の研修をフレキシブルに行うことが可能です。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| 診療科(基本領域) | 外科—呼吸器外科 |
| キャリア形成支援機関 | 東邦大学医療センター佐倉病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 呼吸器外科 教授 診療科責任者 佐野 厚 |
| 問合せ先 | 043-462-8811 |
| コースの特長 | 外科研修を継続しつつ、非常勤勤務で地域医療に貢献する。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|----------------|---------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
| 外科専門医 | 医師免許取得後 6 年目 |
| 呼吸器外科専門医 | 医師免許取得後 8 年目 |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | 1 年目 | 2 年目 | 3 年目 | 4 年目 | 5 年目 | 6 年目 | 7 年目 | 8 年目 | 9 年目 |
|--------------|---------|----------|-------|-------|-----------|------|------|------|------|
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修(外科) | | | 呼吸器外科専門研修 | | | | |
| | | 基幹 | 基幹 | 連携/基幹 | | | | | |
| 勤務先 医療機関※ | 臨床研修病院群 | | B、A 非 | | | | | | |

※勤務先医療機関：県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

【非常勤勤務について】

想定される勤務シフト(週の勤務日数等)

- ・地域 A 群で週 1.5 日(10 時間程度)の非常勤勤務を 7 年間(常勤換算方法:0.3 年 x7=2.1 年)
- ・地域 B 群で週 4.5 日(37 時間程度)の非常勤勤務を 7 年間(常勤換算方法:1 年 x7=7 年)

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
|------------------------|--------------------------------|-------|
| 浅井病院 東葉クリニック大網脳神経外科 | 東邦大学医療センター佐倉病院 日本医科大学千葉北総病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

東邦大学の勤務の規定として、常勤勤務として週 1.5 日の非常勤勤務が認められています。当科と提携している地域 A 群の医療機関に非常勤勤務を継続して行うことにより、外科研修を継続しながら地域 A 群の勤務期間を満たします。
当科は心臓血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科で一体的に運営されていますので、外科の各科の研修をフレキシブルに行うことが可能です。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| 診療科(基本領域) | 外科—乳腺外科 |
| キャリア形成支援機関 | 東邦大学医療センター佐倉病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 乳腺外科 教授 診療科責任者 榑原 雅裕 |
| 問合せ先 | 043-462-8811 |
| コースの特長 | 外科研修を継続しつつ、非常勤勤務で地域医療に貢献する。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|----------------|---------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
| 外科専門医 | 医師免許取得後 6 年目 |
| 乳腺外科専門医 | 医師免許取得後 8 年目 |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | 1 年目 | 2 年目 | 3 年目 | 4 年目 | 5 年目 | 6 年目 | 7 年目 | 8 年目 | 9 年目 |
|--------------|---------|------|----------|------|-------|----------|------|------|------|
| 状況 | 臨床研修 | | 専門研修(外科) | | | 乳腺外科専門研修 | | | |
| | | | 基幹 | 基幹 | 連携/基幹 | | | | |
| 勤務先 医療機関※ | 臨床研修病院群 | | B、A 非 | | | | | | |

※勤務先医療機関：県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

【非常勤勤務について】

想定される勤務シフト(週の勤務日数等)

- ・地域 A 群で週 1.5 日(10 時間程度)の非常勤勤務を 7 年間(常勤換算方法:0.3 年 x7=2.1 年)
- ・地域 B 群で週 4.5 日(37 時間程度)の非常勤勤務を 7 年間(常勤換算方法:1 年 x7=7 年)

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
|------------------------|--------------------------------|-------|
| 浅井病院 東葉クリニック大網脳神経外科 | 東邦大学医療センター佐倉病院 日本医科大学千葉北総病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

東邦大学の勤務の規定として、常勤勤務として週 1.5 日の非常勤勤務が認められています。当科と提携している地域 A 群の医療機関に非常勤勤務を継続して行うことにより、外科研修を継続しながら地域 A 群の勤務期間を満たします。
当科は心臓血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科で一体的に運営されていますので、外科の各科の研修をフレキシブルに行うことが可能です。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

1 概要

| | |
|---------------------|---------------------|
| 診療科（基本領域） | 外科 |
| キャリア形成支援機関 | 東邦大学医療センター佐倉病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 外科 教授 岡住 慎一 |
| 問合せ先 | 043-462-8811 |
| コースの特長 | ・多数の症例経験と臨床手技の習得が可能 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|----------------|---------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考（標準的な取得時期等） |
| 外科専門医 | 医師免許取得後6年目 |
| 消化器外科専門医 | 医師免許取得後9年目 |
| | |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ（想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません）

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 |
|------------|---------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修（外科） | | | | | | | |
| | | 基幹 | 連携 | 基幹 | | | | | |
| 勤務先 病院※ | 臨床研修病院群 | | B | A | B | | | A | |

※勤務先病院：臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

4 勤務が想定される医療機関（将来的な配置を約束するものではありません）

| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
|--------|----------------|-------|
| 公立長生病院 | 東邦大学医療センター佐倉病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

当科専門研修プログラムは下記の3つコースがあり、どのコースに進んでも指導内容や経験症例数に不公平がないように十分配慮します。

(1) サブスペシャリティ領域専門医連動コース

外科専門研修に必要な症例数を中心に、広く外科専門研修を2年次まで行い、3年次にサブスペシャリティ症例を中心に研修基幹または連携施設での研修を行います。

(2) 総合外科系コース

3年次まで広く総合的に外科専門研修を行う。外科専門研修修了後、サブスペシャリティ領域を決定し、その後、サブスペシャリティ専門医取得へ移行することを推奨します。

(3) 大学院連動コース

3年次以降に東邦大学大学院に進学し、臨床研究、または学術研究・基礎研究を開始します。
ただし、研究専任となる期間は専門医研修3年次までの間で6か月以内とします。

（注意事項）

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間（妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等）等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します（旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します）。

変更

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|-----------------------------------|
| 診療科(基本領域) | 外科—消化器外科 |
| キャリア形成支援機関 | 日本医科大学千葉北総病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 外科 部長 中村慶春 |
| 問合せ先 | 0476-99-1111 keishun@nms.ac.jp |
| コースの特長 | 大学院での研究および博士号取得が可能。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
|----------------|---------------|
| 外科専門医 | 医師免許取得後6年目 |
| 消化器外科専門医 | 医師免許取得後8年目 |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 |
|------------|---------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修(外科) | | | | | | | |
| | | 連携 | 基幹 | 基幹 | | | | | |
| 勤務先 病院※ | 臨床研修病院群 | | B※ | | | B | A | | |

※勤務先病院: 臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予
※…この期間に大学院にて学術研究を行い、博士号の取得が可能。

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
|----------------------------------|--|-------|
| 公立長生病院 塩田病院 塩田記念病院 菅原病院 | 日本医科大学千葉北総病院 国立がん研究センター東病院 東京女子医科大学附属八千代医療センター 総合病院国保旭中央病院 亀田総合病院 国際医療福祉大学成田病院 東邦大学医療センター佐倉病院 四街道徳洲会病院 セントマーガレット病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

日本医科大学千葉北総病院は県から基幹災害拠点病院・がん診療連携拠点病院の指定を受け、地域の救急医療・がん診療において重要な役割を担っています。年間手術数は NCD ベースで 1500 例を超え、外科専門医を目指す医師に十分な手術症例を提供できる環境にあります。また希望者は社会人大学院生として、期間中の医学博士の取得も可能です。さらに、育児をしながらの勤務を援助するために、敷地内に保育施設を整えています。

(注意事項)

- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します。

診療科別コース一覧【整形外科】

令和5年8月29日時点

○ キャリア形成支援機関及び診療科別コース

整形外科の各診療科別コースは新プログラム向けに策定されています。旧プログラム選択者については、新プログラム向けの診療科別コースを参考にキャリア形成プランを作成します。

国際医療福祉大学成田病院

【追加】 整形外科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|-------------------------|
| 診療科(基本領域) | 整形外科 |
| キャリア形成支援機関 | 国際医療福祉大学成田病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 整形外科 部長 八木 満 |
| 問合せ先 | 0476-35-5600 |
| コースの特長 | 国際社会に通用する一流の整形外科専門医となれる |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|----------------|---------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
| 整形外科専門医 | 医師免許取得後7年目 |
| | |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | | | | | | | | | |
|--------------|---------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 |
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修(整形外科) | | | | | | | |
| | | 基幹 | 連携 | 連携 | 連携 | | | | |
| 勤務先 医療機関※ | 臨床研修病院群 | | B | B | B | B | B | A | A |

※勤務先医療機関：県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| | | |
|--------|------------------------------|-------|
| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
| 県立佐原病院 | 国際医療福祉大学成田病院 国際医療福祉大学市川病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

国際医療福祉大学は「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性をめざした大学」という3つの基本理念と、この理念を実現するための7つの教育理念(人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営)を掲げており、病める人も、障害を持つ人も、健全な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現をめざした教育を行っています。医学部整形外科はこの大学の基本理念を踏襲し、とくに国際社会で輝くことのできる専門性と自由な発想を持った整形外科医師を育てて行くことを目標とします。これに基づき5点の修得を重点項目とします。

1. 整形外科医師としての高い見識 2. 倫理観ならびに協調性 3. リサーチマインド 4. 実践的な技術 5. 国際性
基幹施設である国際医療福祉大学成田病院は医学部の本院機能を有し、また成田空港至近という場所柄、地域における高度医療の担い手であると同時に、国内外の患者に対応できる質の高い医療とサービスを提供します。国際的な医療ニーズに対応することのできるアジアを代表する世界的な拠点病院として、既存の病院とは全く異なる新規のグローバルな病院をめざしています。2017年4月に国際医療福祉大学医学部が設立し、同時に当整形外科教室が発足しました。新しい教室であるわれわれは、古い慣習にとらわれず開かれた次世代の教室の構築と運営を第一に考えています。また、本学は医療系総合大学ですので、他職種との連携を常に意識し「チーム医療・チームケア」を実践しながらの研修に長けています。これらにより、本プログラムに参加した専攻医は、広い視野と高い専門性を兼ね備えた、国際社会に通用する一流の整形外科専門医となれると確信します。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース一覧【産婦人科】

令和5年8月29日時点

○ キャリア形成支援機関及び診療科別コース

産婦人科の各診療科別コースは新プログラム、または、政策医療分野プログラム向けに策定されています。旧プログラム選択者については、新プログラム向けの診療科別コースを参考にキャリア形成プランを作成します。

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

| | |
|----------------|----|
| 【変更】 婦人科 | 25 |
| 【変更】 産科／政策医療分野 | 26 |

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|--|
| 診療科(基本領域) | 産婦人科—婦人科 |
| キャリア形成支援機関 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 亀田総合病院 産婦人科主任部長(婦人科腫瘍担当) 大塚 伊佐夫 |
| 問合せ先 | 亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp |
| コースの特長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 ・身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 ・充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期(自科・他科)とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|-------------------|-----------------------------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
| 産婦人科専門医 | 医師免許取得後6年目 |
| 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 | 医師免許取得後8年目 |
| 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 | 医師免許取得後9年目 |
| 医学博士 | 医師免許取得後9年目 (県外の大学院の場合、猶予期間を利用) |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 |
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修(産婦人科) | | | | | | | |
| | | 基幹 | 基幹 | 連携 | | | | | |
| 勤務先病院※ | 臨床研修病院群 | | B | | | B* | | A* | |

※勤務先病院: 臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予
*:3~4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| | | |
|-------------------|---|-------|
| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
| さんむ医療センター 東陽病院 | 亀田総合病院 総合病院国保旭中央病院 帝京大学ちば総合医療センター 船橋中央病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

医師のトレーニングにおいて、専門医としての思考過程の確立は、極めて重要です。当院の産婦人科専門医研修プログラムでは、基本的な診察手技、臨床診断推論、診療録記載、治療目標設定、評価といったプロセスを重視した教育を行ない、女性のための総合診療医を育成します。
※ 猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります。
昭和大学病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、長崎医療センター、南相馬市立病院、恵寿総合病院、名瀬徳洲会病院、亀田京橋クリニック

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース(政策医療分野)

1 概要

| | |
|---------------------|--|
| 診療科(基本領域) | 産婦人科—産科 |
| キャリア形成支援機関 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 亀田総合病院 産婦人科部長(腹腔鏡視下手術担当)・周産期科部長 古澤 嘉明 |
| 問合せ先 | 亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp |
| コースの特長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 ・身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 ・充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期(自科・他科)とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
|--------------------|-----------------------------------|
| 産婦人科専門医 | 医師免許取得後6年目 |
| 周産期専門医(母体・胎児) | 医師免許取得後9年目 |
| 生殖医療専門医 | 医師免許取得後9年目 |
| 医学博士 | 医師免許取得後9年目 (県外の大学院の場合、猶予期間を利用) |
| 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医 | 医師免許取得後9年目 |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 |
|--------|---------|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 状況 | 臨床研修 | | 専門研修(産婦人科) | | | | | | |
| | | | 基幹 | 基幹 | 連携 | | | | |
| 勤務先病院※ | 臨床研修病院群 | | 政、他 | | | 政* | | | |

※勤務先病院: 臨床研修病院群…県内の臨床研修病院

政…政策医療分野群、他…政策医療分野群以外の医療機関群、猶予…県外での勤務等による猶予

*: 3~4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| 政策医療分野群 | 政策医療分野群以外の医療機関群 |
|--|----------------------------------|
| 亀田総合病院 総合病院国保旭中央病院 船橋中央病院 さんむ医療センター | 帝京大学ちば総合医療センター 亀田 IVF クリニック幕張 |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

医師のトレーニングにおいて、専門医としての思考過程の確立は、極めて重要です。当院の産婦人科専門医研修プログラムでは、基本的な診察手技、臨床診断推論、診療録記載、治療目標設定、評価といったプロセスを重視した教育を行ない、女性のための総合診療医を育成します。

※ 猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります。

昭和大学病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、長崎医療センター、南相馬市立病院、恵寿総合病院、名瀬徳洲会病院、亀田京橋クリニック

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します。

診療科別コース一覧【眼科】

令和5年8月29日時点

○ キャリア形成支援機関及び診療科別コース

眼科の各診療科別コースは新プログラム向けに策定されています。旧プログラム選択者については、新プログラム向けの診療科別コースを参考にキャリア形成プランを作成します。

国際医療福祉大学成田病院

【追加】眼科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

【変更】眼科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|--|
| 診療科(基本領域) | 眼科 |
| キャリア形成支援機関 | 国際医療福祉大学成田病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 眼科 部長 臼井 智彦 |
| 問合せ先 | 0476-35-5600 |
| コースの特長 | 先進的かつ最良な臨床を実施。臨床・教育・研究のいずれにおいても充実した体制の本プログラムである。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|----------------|---------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
| 眼科専門医 | 医師免許取得後7年目 |
| | |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | | | | | | | | | |
|--------------|---------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 |
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修(眼科) | | | | | | | |
| | | 基幹 | 基幹 | 連携 | 連携 | | | | |
| 勤務先 医療機関※ | 臨床研修病院群 | | B | B | C | C | B、C | A | A |

※勤務先医療機関：県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| | | |
|---------------------------|--------------|-------------|
| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
| さんむ医療センター 香取おみがわ医療センター | 国際医療福祉大学成田病院 | 千葉大学医学部附属病院 |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

本プログラムでは、眼科主要 10 領域の全てにおいて経験豊富な指導者が在籍しており、そのため紹介患者は大変多く、幅広く豊富な症例が経験することが可能です。専攻医に対しては指導医が責任をもって教育にあたり、眼科学会専門医・指導医の取得が可能です。また、研究体制も充実しており、大学院生はそれぞれ研究テーマをもって診療と共に研究を行っており、医学博士の学位取得が可能です。新しい医学部ということもあり、在籍している医師は皆歴史を作っているという気概でやる気に満ち溢れています。そのような雰囲気の中、臨床・教育・研究のいずれにおいても充実した体制の本プログラムと一緒に眼科の研修を始めませんか？

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース

1 概要

| | |
|---------------------|--|
| 診療科(基本領域) | 眼科 |
| キャリア形成支援機関 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 診療科別コース管理者 所属職氏名 | 亀田総合病院 眼科部長代理 堀江 大介 |
| 問合せ先 | 亀田総合病院 卒後研修センター kouki-kenshu@kameda.jp |
| コースの特長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりのキャリアプランを尊重し、研修中のライフイベントにも柔軟に対応する、自由度の高い個別プログラムです。 ・身分保障がしっかりしており、安心して研修に専念できます。 ・充実した指導体制のもとで、向上心に溢れた多くの同期(自科・他科)とともに、楽しみながら知識・技術の研鑽が可能です。 |

2 取得可能な資格、知識、経験等

| | |
|----------------|-----------------------------------|
| 取得可能な資格、知識、経験等 | 備考(標準的な取得時期等) |
| 眼科専門医 | 医師免許取得後7年目 |
| 医学博士 | 医師免許取得後9年目 (県外の大学院の場合、猶予期間を利用) |
| | |
| | |
| | |

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

| | | | | | | | | | | |
|--------|---------|----------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|--|
| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | |
| 状況 | 臨床研修 | 専門研修(眼科) | | | | | | | | |
| | | 基幹 | 基幹 | 基幹 | 連携 | | | | | |
| 勤務先病院※ | 臨床研修病院群 | | B | | | A、B* | | A* | | |

※勤務先病院: 臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予
*:3~4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

| | | |
|--------------|--------|-------|
| 地域A群 | 地域B群 | 県内病院群 |
| 東陽病院 塩田病院 | 亀田総合病院 | |

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

亀田総合病院眼科の研修プログラムの趣意は、眼科医療を学ぶことにとどまらず、医師としての人格の育成と、患者第一の医療の実践を行うことである。4年後の眼科専門医試験の受験資格を得ることはもちろん、これを難なくこなし得る知識と技能を身につけた優秀な眼科医を育成することである。

眼科研修の初期には、それぞれの分野のスペシャリストから基本講義を受け知識の整理を行う。また、近年専門 IT 化のすさまじい検査部門については専門の検査技師のアドバイスや指導を受け、基本である屈折、視野、視機能検査のほか、OCT や UBM、デジタル眼底撮影や角膜トポグラフ、全視野あるいは多局所 ERG 測定にいたるまで、自ら行い習熟したうえで患者診察を開始する。

内眼手術のうち白内障手術は専門医試験まで少なくとも 100 例経験する。眼底検査に習熟し、レーザー治療が充分出来、眼底観察が周辺部まで可能になれば、網膜硝子体手術の助手となり、バックリング、簡単な硝子体手術も行う。緑内障は指導医のもと、眼底所見と視野所見に基づいた患者の診察を行う。点眼等薬物治療に習熟した後、ろ過手術にも参加する。その他の領域も各専門分野の指導医のもと、必要な基礎知識と技術を習得する。

※ 猶予期間を利用し、以下の県外施設で研修を行う可能性があります。
埼玉医科大学病院、杏林大学医学部付属病院

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。